

17. 副腎腫瘍

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) / 昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日						各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容			
						体外照射			治療内容	治療実績	医師の 専門 分野	
1 乳腺内分泌外科	3	1	状況	○			近年、当科では主として副腎良性腫瘍に対して腹腔鏡「前側方アプローチ」を開発し、良好な成績をおさめています。	ア	乳腺内分泌外科	掲載あり	掲載あり	掲載あり
								イ	http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/kajyousen/index.html			
2 泌尿器科	7	1	状況	○	○	○	手術の適応は機能性腫瘍であり、無機能性腫瘍ではガイドラインに添って決めています。大きな腫瘍(>10cm)についても腹腔鏡手術で対応しています。	ア	泌尿器科	掲載あり	掲載あり	掲載あり
								イ	http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/hinyou/			
3 放射線治療科	2	2	状況			○	泌尿器科と連携し、主に緩和的(3次元)放射線治療を行っています。	ア	放射線治療科	掲載あり	掲載あり	掲載あり
								イ	http://www.oph.gr.jp/medical/treatment/housha-t/index.html			
4			状況					ア	http://			
								イ	http://			
5			状況					ア	http://			
								イ	http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況
 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること

昨年の治療実績ありの疾患名
 ※平成25年1月1日~12月31日
 例: 褐色細胞腫、副腎皮質がん
 褐色細胞腫、副腎がん